

**平成26年度（通期）
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課：教育委員会事務局 生涯学習 部 社会教育 課

1. 基本情報

1301

施設名	伊丹市立生涯学習センター（ラストホール）		
施設の設置目的	市民の生涯学習を推進し、あわせて市民の教養、文化の発展と健康の増進を図る。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標：未来を担う人が育つまち 施策目標：ライフステージごとに学び活躍する人づくり 主要施策：生涯にわたる主体的な学習の支援		
指定管理者の名称	公益財団法人 伊丹市文化振興財団 （団体の住所又は所在地） 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号伊丹市立文化会館（いたみホール）内		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 （管理運営を行う上での指定管理者の具体的目標）	指標名	利用者人数（単位： 人 ）	
	指標の意味	講座・イベント＋貸館（自習室含む）＋フィットネスの利用者のべ人数	
	今年度の目標値	194,500	今年度の実績値 202,092

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H22	H23	H24	H25	H26 (上期)	H26 (通期)
	来館者数（人）	337,586	383,659	390,441	407,529	371,008	178,608	377,910
	貸し室稼働率（%）	39	46	46	46	46	46	45
	講座開催回数（回）	630	917	973	944	919	471	974
	講座参加者数（人）	18,879	42,282	45,302	43,766	41,445	21,097	44,153

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 管理経費等

平成26年度 指定管理者の 収支状況 〈単位:千円〉	計画（通期）		実績（通期）	
	＜収入の部＞		＜収入の部＞	
	指定管理委託料	118,877	指定管理委託料	118,877
	利用料金収入	55,118	利用料金収入	56,103
	事業収入（講座料収入等）	13,197	事業収入（講座料収入等）	14,886
	その他	241	その他	214
	合計	187,433	合計	190,080
	＜支出の部＞		＜支出の部＞	
	人件費	32,807	人件費	33,206
	維持管理経費	50,012	維持管理経費	49,615
	事業等経費	15,627	事業等経費	14,998
	フィットネス事業経費	88,987	フィットネス事業経費	90,439
	合計	187,433	合計	188,258
	＜収支差＞		＜収支差＞	
	収入合計－支出合計	0	収入合計－支出合計	1,822

施設の管理運営に係る実質経費（市の負担）※ 〈単位:千円〉		H21	H22	H23	H24	H25	H26
	市の収入	2,055	2,078	2,071	2,048	2,146	249
	（内、使用料収入）	0	0	0	0	0	0
	市の支出	113,363	108,789	108,922	107,897	113,704	127,672
	（内、指定管理委託料）	110,083	108,147	107,905	106,861	111,849	118,877
	実質経費（歳出－歳入）	111,308	106,711	106,851	105,849	111,558	127,423

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目		(具体的内容)	評価結果			
			指定管理者自己評価		施設担当課評価	
			評価	特記事項	評価	担当課所見
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的に実施し、常に清潔に保たれているか。	B	老朽化する施設・設備の維持管理について、利用者の利便性と費用対効果のバランスをはかりながら、担当課と協議をはかりながら臨機応変に対応している。	A	施設が老朽化する中、利用者の利便性を勘案しながら適切な管理業務を行っている。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	A		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B		B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B		A	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	A		B	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	A	施設運営の実務経験が長いスタッフを配置し、館外連携等、業務スキル向上へ取り組んでいる。	A	施設の設置目的を理解し、事業運営に必要な人員配置と職員研修を行っている。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	A		A	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B		B	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	緊急連絡体制も整備し、年2回の防災訓練も実施している。	B	緊急連絡体制と定期的な消防訓練がなされている。
		避難訓練を実施しているか。	B		B	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	ハード面では要望の多かった常設の自習室を設置し運営を開始した。ソフト面では市民の企画を反映する市民参画事業に取り組んでいる。	A	アンケートによるニーズの把握と反映を行った結果、利用者数が目標値を上回った。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	A		A	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B		B	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B		B	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	A	市民の協働と参画を軸に、生涯学習事業を幅広く展開した。	A	地域連携事業など、市の施策に沿った事業を実施している。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	A		A	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	各種申請書や個人情報について、適切かつ厳重な管理を行っている。	B	個人情報等については条例等を遵守し、特色ある広報活動を行っている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A		A	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	A	事業収入（イベント講座・フィットネス）が増収した。	A	適切に経理処理すると共に、収支計画を上回っている。
経理処理は、適切に行っているか。		B		B		

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「－」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	貸館利用者は減少したものの、フィットネス事業では昨年に続き会員数、利用人数ともに増加し、イベント等の参加者人数も増加している。さらに、喫茶室を改装した自習室の導入により施設利用人数は大幅に増加しており、市総合計画等の施策の趣旨を踏まえた効果的・効率的な管理運営を行っている。
総合評価	
A	

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝管理運営が非常に優れていると認められる。

「B」＝管理運営が適正であると認められる。

「A」＝管理運営が優れていると認められる。

「C」＝管理運営が改善を要する水準である。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成27年 3月 2日 ～ 平成27年 3月15日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	・館内の清掃は行き届き、清潔に保たれていますか。 → 「はい」 94%	定期清掃により概ね清潔に保たれている。利用者から指摘があった場合には、早急に対応している。
	・職員の接客態度はいかがですか。 → 「たいへん良い」 44% 「良い」 41%	「たいへん良い」と言っていただけの方を増やす接客態度を目指す。
回答者数		
103	(自由記述) ・フィットネスは人が多すぎる、使いたいマシンが使えない。	会員の高齢化に伴い、日中に利用者が集中している傾向にあるので、利用者が分散するようプログラムのタイムスケジュールの調整や、夕方以降の利用の推奨等の対策を講じている。

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置